

令和5年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 22 回開催し、延べ 663 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
1	4/13(木) 13:30～17:00 中央公民館	43	テーマ：令和5年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について 1 教育長あいさつ（伊佐治教育長） 2 令和5年度中央公民館重点目標について（石川中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 (1) 令和5年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和4年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和5年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和5年度予算について - ア 公民館管理運営費 - イ 公民館講座事業費 - ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 令和5年度 松本市小中学校環境教育支援事業について (8) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (9) 公民館総合補償制度対応手順について
2	4/下旬 ブロック研修会	35	テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案 各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。
3	5/11(木) 13:30～17:00 中央公民館	30	テーマ：「貸館の基礎を学ぶ」 1 研修趣旨 (1) 背景 社会教育施設である公民館は、地域住民、各種団体・サークル、民間企業など多様な主体から貸館を求められる。貸館の可否および減免の判断については、社会教育法や公民館条例等の関係法令に基づき判断する必要があるが、多種多様なケースが存在し、判断に迷うケースも散見される。一定の判断基準に基づいた貸館の可否および減免の判断を行う必要がある。 (2) 目的 貸館の基本となる関係法令を読み解き、松本市の公民館として統一的な見解を導けるよう、具体例を基に適正な貸館判断ができることを目指す。 2 事務連絡・協議事項 (1) デジタル活用支援事業等について(DX 推進本部) (2) 令和5年度長野県公民館主事研修会について(丸山中信公運協評議員) (3) 町内公民館振興業務委託料について(生涯学習課) (4) 「まつもと日和」上映会について(まつもとフィルムコモンズ) (5) 令和5年度松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」について(生涯学習課) (6) プラチナ大学視察受入地区の選定について(生涯学習課) (7) 生涯学習課・中央公民館重点目標等について(生涯学習課) (8) 令和5年度後期庁用バスの予約について(朝倉幹事長) 3 研修 (1) 貸館についての基礎知識、関係法令について (2) 個人ワークおよびグループワーク

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
4	5/25(木) 13:30～17:00 大手公民館	30	テーマ：「①お悩み相談会」、「②公民館プロジェクトについて」 1 研修趣旨 (1) 背景 ①新年度から2ヶ月弱が経過し、コロナ対策の緩和等を受け、公民館活動が活発化する時期となる。新任の主事を始め、公民館活動について誰に何を相談すれば良いか分からず、悩みを抱える主事が多いと推察される。 ②主事会プロジェクトは、主事有志によるチーム(貸館・DX・町内公民館振興等)で今日的課題の検討及び自己研鑽を行うことを目的に、令和3年度に発足した。チーム再編を経て活動を継続してきたが、人事異動等に伴い、チームによっては、活動が十分に行えない等の課題がある。 (2) 目的 ①各主事の悩みを相談できる機会を提供するとともに、その内容や対応策について全体で共有する。 ②プロジェクトの目的に照らし、改めてチーム再編やメンバーについて主事会全体で検討し、今回の結果をもとに、今後の幹事会で調整を行う。 2 事務連絡・協議事項 (1) 食育計画について(健康づくり課) (2) 庁用バスの予約について(幹事会) (3) 令和5年度長野県公民館運営協議会事業等について(県公運協理事) (4) 令和5年度関ブロ大会参加申込書について(事務局) 3 地区情報発信(中央地区) 4 研修 「お悩み相談会」、「公民館プロジェクトについて」
5	6/9(木) 13:30～17:00 笹賀公民館	34	テーマ：「会計事務」、「市民歩こう運動～地域の魅力再発見～」 1 研修趣旨 (1) 背景 ①今年度は新財務会計システムに変わり、新任主事を始め、主事全体で会計事務について同じ悩みを抱えていると推察される。 ②幅広い世代が地域を知り、関心を持つ機会の創出。また運動機会の確保と充実は、地域づくりを担う公民館に求められている役割の一つだと考えられる。 (2) 目的 ①財務会計システムが新しくなったことも踏まえ、事前に質問を集め、情報共有することで会計事務を学ぶ機会とする。 ②「第3次松本市教育振興基本計画」で重視されている「学びに、遊びと体験を。」を意識し、「市民歩こう運動」として、今年度5月8日に松本市が公開したMEGURY(メグリ)を実際に体験。各地区で「市民歩こう運動」を実施している事例共有や、地域学習や健康増進の工夫(ツール)の共有を行う。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会参加申込について(続報)(事務局) (2) 主事会プロジェクトについて(続報)(事務局ほか) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) 3 研修 「会計事務」、「市民歩こう運動～地域の魅力再発見～」について

回	日時・会場	出席者	研修内容
6	6/22(木) 13:30～17:00 里山辺公民館	33	テーマ：公民館事業を見せる！魅せる！広報のイロハ 1 研修趣旨 (1) 背景 講座・イベントを開催しても、「人が集まらない」「参加者が固定化している」などは、どの地区でも共通した課題となっている。公民館事業の価値は集客数のみで決まるものではないが、公費で開催する事業として、また町会配布物としての広報の費用対効果の観点から、より多くの地区住民に事業の効果が波及するよう、人の目を引き、興味を持ってもらうための広報が求められる。 (2) 目的 事業の目的や魅力を地区住民に向けて効果的に伝え、人が集まる・興味を持つ公民館講座の広報の仕方を学ぶ。また、各地区で現状どのような広報を行っているのか、その手法等を共有することで、自身の地区での広報活動を改めて見直す一助とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会参加申込について(事務局) (2) 松本市町内公民館館長会ブロック別研修会について(中央公民館) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) 3 地区情報発信(第一地区) 4 研修 「公民館事業を見せる！魅せる！広報のイロハ」
7	7/13(木) 13:30～17:00 鎌田地区公民館	31	テーマ：フューチャーデザインワークショップ 1 研修趣旨 (1) 背景 地区によって様々な地域課題があり、それに対する住民の意見集約や合意形成は難しく、課題に対する意見の対立も起こりうる。環境問題を代表例として、現代に生きる人間が自分たちの利益を追求することで、未来の人間が不利益を被るという事例が増えている。公務員として今後の計画立案には、中長期的な視点が必要不可欠である。 (2) 目的 フューチャーデザインワークショップを体験することで、課題の見える化や住民との意見交換（集約・合意形成）の手法を学ぶ。未来人としての視点を持つことで、現代や近い未来ではなく、未来思考・中長期的な考え方の重要性を学ぶ。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） (2) ChatLuck「公民館主事会ルーム」について(副幹事長・事務局ほか) (3) 報償費について(事務局) (4) 公民館事業に係る事故・怪我の発生の多発について(事務局) 3 地区情報発信(鎌田地区) 4 研修 「フューチャーデザインワークショップ」
8	7/27(木) 13:30～17:00 中央公民館	33	テーマ：特別な支援を要する人々の学習の場 1 研修趣旨 (1) 背景 学びを保障する場として、公民館は地域住民、様々な状況の方(貧困の状況にある子供、障がい者、高齢者、孤独・孤立の状態にある者、外国人、女性)の学習ニーズに応じ、学習機会を提供する役割があり、そのために公民館主事は多様な人や組織を理解し、つながりを持つ必要がある。 特に、多様な人々が来館する公民館、地域づくりセンター職員として障がいのある方の気持ちに寄り添ったコミュニケーションの取り方を身に着けておくことが望ましいと考えられる。 (2) 目的 松本ろう学校（寿地区内・県立）の概要や学校生活の様子から、そこで

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			学ぶ子どもとの関わり方、多様な学びの環境を知る。さらに、体験談や手話体験を通して「誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会」（「障害者の生涯学習の推進方策について」学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議より）を実現するための公民館の役割を考える。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和6年度長野県館報関係者研修会について（浅井県公運協理事） (2) 松本市公民館チャンネルにおける動画のアップロード方法について（中央公民館 清水事務員） (3) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） 3 地区情報発信（中山地区） 4 研修 「特別な支援を要する人々の学習の場」
9	8/上旬 ブロック研修会		テーマ：下半期の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案等 下半期の研修テーマ、まちづくりの集い等について検討する
10	8/24(木) 10:00～17:00 美鈴湖もりの国 オートキャンプ 場・美鈴湖	24	テーマ：遊び・体験を通じた環境学習とその注意点 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月に策定された第3次松本市教育振興基本計画では、「学びに、遊びや体験を。」をスローガンに、分野2教育において、学童期や青年期の学校教育を中心とした多様な学びに、①子どもの運動機会の確保の充実、②地域資源を活用した「魅力ある学校づくり」の推進、③若者が地域や社会とつながる機会の創出等が掲げられている。 (2) 目的 柳澤林業の取り組みを聞き、実際に体験することで知識や関心を高め、テーマ設定の内容につながる講座の企画・運営に役立てる。 今年度から様々な行事等が展開されることが予想される。行事中のケガ等への対応を、主事でも出来る応急処置のスキルを身に付ける機会とする。 2 研修 もり遊び、SUP 体験、簡単アウトドアクッキング、応急手当講習
11	9/14(木) 13:30～17:00 松本市立博物館	31	テーマ：松本まるごと学都構想が目指すもの～新市立博物館から学ぶ～ 1 研修趣旨 (1) 背景 新しい松本市のシンボルとなる市立博物館は、大名町通り沿いに移転され、10月7日にオープンを迎える。令和4年6月から施行された「第3次松本市教育振興基本計画」において、市立博物館は「松本まるごと学都構想」の実現に欠かすことができない中心的な施設と位置付けられている。 しかし、公民館主事としての施策や取り組みの理解や、公民館と博物館との連携という部分で、理解を深める必要がある。 (2) 目的 移転オープンを前に、館内にある歴史的資料や展示物等を見学し、博物館の現状や課題等を知るとともに、地域の歴史学習等への活用や住民の「学び」につなげる方法を学習する。また、公民館と博物館のより一層の連携を考える機会としたい。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会について（事務局） (2) 令和6長野県館報関係者研修会について (3) 令和6年度前期庁用バスの予約及び今後の対応について (4) 信州やまなみ国スポ・全障スポについて（スポーツ事業推進課） (5) 貸館業務について（中央公民館） (6) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） 3 地区情報発信（和田地区）

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			4 研修 「松本まるごと学都構想が目指すもの～新市立博物館から学ぶ～」
12	9/28(木)・29(金) 長野市芸術館・生涯 学習センター	27 26	第 71 回長野県公民館大会・第 63 回関東甲信越静ブロック公民館研究大会 1 全体会(9/28) 「人とつながる」 講師：社会医療法人財団慈泉会 相澤健康 小平 奈緒 氏 2 分科会 7分科会(地域防災①、②、公民館のあり方、これからの情報発信、 多様な連携・協働①、②、地域コミュニティの復興)
13	10/12(木) 13:30～17:00 第三地区公民館	21	テーマ：ニュースポーツ体験とその活用 1 研修趣旨 (1) 背景 市街地には小中学校の体育館・校庭、社会体育館等、体育事業の会場となる施設が地区内に少なく、町会対抗戦のような規模のものを定期的に実施することは困難。一方で運動不足・社会参加不足等に起因する「フレイル」が広く知られるようになり、高齢期に至る前に、筋力の低下、社会参加の機会の減少を防ぐために住民と一緒に体を動かし、顔見知りを増やしていくことの重要性が再認識されている。 (2) 目的 ①スポーツの経験がない人でも気軽に参加できるニュースポーツの例として「ボッチャ」「モルック」を主事自身が体験し、地区内での体育事業に取り込むきっかけにする。 ②特にモルックはさほど広いスペースを必要とせず、2人以上いればプレーが可能。このような種目を例として体育施設のない地区でも取り組めるニュースポーツを知り、住民に提案するための選択肢を増やしていく。 2 地区情報発信(第三地区) 3 事務連絡・協議事項 (1) オンライン通いの場アプリについて(福祉政策課) (2) 令和5年度関ブロ大会について(事務局他) (3) 令和5年度社会教育主事講習【B】について (4) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) 4 研修 「ニュースポーツ体験とその活用」 5 全体討議 「貸館事業について」
14	11/9(木) 13:30～17:00 グレンパークさわ んど他	20	テーマ：地域の自然資源を生かした地域振興とは？ 1 研修趣旨 (1) 背景 地域振興は、「観光」「名産づくり」といった観光等のセクションが関与するワードにより狭義に捉えられがちで、地域住民が受け身、つまり客体として存在することが多い。 本来、地域振興とは、地域住民にこそメリットがもたらされるものであることを思えば、地域住民が主体として存在すべきである。 その視点においては、地域住民の主体性を醸成する役割を公民館が負う部分は大きい。 これを担う上での課題は、行政職員によるコミュニケーションスキルの習得や、身近な自然資源の活用方策への技能知識の習得が挙げられる。 (2) 目的 1 地域住民の主体性を醸成するコミュニケーションスキルを学ぶ。 2 自然資源の活用方策への技能知識習得を学ぶ機会とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) (2) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館)

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			(3) デジタル活用支援事業について(中央公民館) (4) 地区公民館のフリースペース開放事業について(中央公民館) (5) 出前講座メニューの一部変更について(中央公民館) 3 地区情報発信(奈川地区) 4 研修 「地域の自然資源を生かした地域振興とは？」
15	11/30(木) 13:30～17:00 下諏訪総合文化センター	27	令和5年度長野県公民館主事研修会(全体会) 1 全体会(パネルディスカッション) 「よくばりなパネルディスカッション」 モデレーター：県主事会副幹事長 浅井 勇太 主任(松本市島立公民館) パネリスト：川俣 徳晃 係長(長野市小田切交流センター) 田中 利行 次長(上田市塩田公民館) 安藤 寿秀 主任(塩尻市中央公民館) 熊谷 祐希 主事(飯田市伊賀良公民館) アドバイザー：白戸 洋 教授(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科)
16	12/1(金) 10:00～13:00 下諏訪総合文化センター	28	令和5年度長野県公民館主事研修会(分科会) 1 分科会(4分科会) ①「公民館未来予想図Ⅲ～伝承から学ぶ未来設計～」 ②「公民館職員のバイブル「公民館の基礎知識」」 ③「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」【松本市運営担当】 ④「廃校に響く懐かしい歌声旧落合小学校ミニコンサート」
17	12/21(木) 14:00～17:00 城北公民館	33	テーマ：「松本市の地域づくりと公民館の歩み」 1 研修趣旨 (1) 背景 少子高齢化・人口減少・個人の価値観の変容等を背景に、地域運営をめぐる状況は厳しさを増している。地域の力だけで課題を解決し暮らしを維持していくことは難しく、同様に行政だけで地域の課題を解決することも難しい。多様な主体の力を結集し、それぞれの強みを生かしながら課題解決を図ることが求められ、公民館主事はその最前線に立っている。その一方で、地域課題の解決に向けどう関わりを持てば良いかわからず鬱屈とし、公民館になぜ正規職員を置いているのか、なぜ指定管理や民間委託とならないのかと悩む公民館主事がいることも事実である。公民館・地域づくりセンターについて学習し、課題解決に向けた関わり方・公民館主事の役割について考える必要がある。 (2) 目的 松本市の地域づくり、公民館・社会教育の役割について学習し、公民館主事の役割・地域への関わり方について改めて考える。 2 事務連絡・協議事項 (1) 冬のイベント事業について(観光プロモーション課) (2) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) (3) 令和6年度前期庁用バスの予約について(庁用バス担当) (4) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館) (5) 県公民館主事会の振り返り【参加者】 3 研修 「松本市の地域づくりと公民館の歩み」
18	1/11(木) 13:30～17:00 岡田公民館	29	テーマ：誰もが自分らしく学べる公民館施設と管理運営について 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月に策定された第3次松本市教育振興基本計画の基本的理念において、「すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく」としている。学びの場を保障する公民館として、高齢者や障がい者への理解を深め、対応力を身に付けるとともに、各公民館内での障害物を把握する必要があると考える。

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			(2) 目的 体験をすることでどのような支援が必要か、どのように接するべきかを理解し、行事や講座に参加できるような環境づくりに役立てる。また、公民館内の障害物をなりそうな物や配置を考えるきっかけとする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 選挙事務について(選挙管理委員会事務局) (2) 町内公民館振興業務委託料の報告書作成等について(中央公民館) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) 3 地区情報発信(四賀地区) 4 研修 「誰もが自分らしく学べる公民館施設と管理運営について」
19	1/25(木) 14:00～17:00 塩尻市総合文化センター	34	テーマ：松本市・塩尻市公民館主事大いに語る 1 研修趣旨 (1) 背景 松本市・塩尻市は同じ中信地区にあり、長野県内においても非常に活発に公民館活動を実施している地域でもある。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症による情勢変化により、公民館活動も大きく影響し、5類移行により徐々に住民自治活動の再構築が進められているが、長期にわたる中断によって、事業実施に必要なノウハウやネットワーク等が失われ、再開が困難になってきている事業もある。 (2) 目的 松本市・塩尻市互いの公民館活動について、事例紹介しつつ、アフターコロナにおける公民館活動について議論することで、今後の互いの活動に寄与できるきっかけ・気づきを見出す。 2 研修 (1) 松本市・塩尻市の公民館の体制について (2) 松本市事例発表 (3) 塩尻市事例発表 (4) グループディスカッション (5) 全体講評(長野県生涯学習推進センター 中田 安子 氏)
20	2/8(木) 13:30～17:00 梓川公民館	37	テーマ：松本市図書館が目指す姿とは～「松本市図書館未来プラン」から学ぶ～ 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月から施行された「第3次松本市教育振興基本計画」において、松本市図書館は「松本まるごと学都構想」の実現に欠かすことができない中心的な施設と位置付けられている。令和4年10月には「松本市図書館未来プラン」が策定され、地域住民のために開かれた生涯学習施設・情報拠点・交流拠点として、多様な機能を生かした新しい図書館像が描かれている。 (2) 目的 生涯学習の推進や交流機会の創出という面で図書館と公民館が持つ機能は似ており、図書館の施策や取り組みを学ぶことは、広い意味で「学び」や「地域づくり」について考えることにも繋がる。研修を通じて、図書館への理解を深めるとともに、図書館と公民館とのより一層の連携を考える機会とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) (2) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館) (3) 行政財産目的外使用許可について(中央公民館) (4) 町内公民館振興業務委託料について(中央公民館) (5) フリースペース・ホットスペースについて(中央公民館) (6) 定期監査の指摘事項について(安原地区公民館・中央公民館) (7) 学校部活動地域移行に伴う松本市公民館の貸館について(中央公民館)

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			3 地区情報発信(梓川地区) 4 研修 「松本市図書館が目指す姿とは～「松本市図書館未来プラン」から学ぶ～」
21	3/7(木) 13:30～17:00 庄内地区公民館	28	テーマ:「まちづくりの集い」の未来を考えるワーク 1 研修趣旨 (1) 背景 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」について、様々な課題の表出、内容や運営方法などの見直し提案がなされている。そんな中で、来年度は松本市公民館研究集会として40回を迎えるにあたり、「集い」は今後どうあるべきなのか＝「集い」の未来を考えるべき段階にある。 (2) 目的 1 今年度の「集い」の反省点・改善点などを共有する。 2 「集い」の目的の確認に始まり、現状との乖離(課題点)、今後の在り方(改善策など)について、主事の認識や考えの整理、可視化を図る。 3 ワークの結果を次年度の「集い」への主事の「提言」としてまとめる。 2 事務連絡・協議事項 (1) 出前講座「賢い消費者になるために」の周知等について(市民相談課) (2) 会計年度任用職員4類の任用に係る事務手続きの変更について(中央公民館) (3) 令和5年度主事会会計決算見込みについて(伊藤副幹事長) (4) 部活動地域移行について(中央公民館 森田主任) 3 研修 「“まちづくりの集い”の未来を考えるワーク」
22	3/21(木) 13:30～17:00 寿台公民館	29	テーマ:令和5年度主事会プロジェクトの総括と令和6年度の主事研修会に向けて 1 研修趣旨 (1) 背景 主事会プロジェクトは令和3年度から見直しを行いながら進めてきているが、年度末にあたり活動内容の詳細や進捗状況を主事会全体で共有し振り返るとともに、今後の活動について考える時間が必要である。また、1年間の主事研修会を終えて、振り返りとさらに学ぶべきことを整理し、来年度の主事会へ活かしていく必要がある。 (2) 目的 主事会プロジェクトの活動状況を報告するとともに主事会全体からの意見を集約することで活動の見直しや今後の方向性を検討する。 今年度に主事研修会で学んできたことを再確認し、来年度以降の主事研修会の在り方を考える。 2 事務連絡・協議事項 3 地区情報発信(寿地区) 4 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 5 研修 「令和5年度主事会プロジェクトの総括と令和6年度の主事研修会に向けて」

※ コロナ禍による制約が無くなり、コロナ禍以前の主事研修会に即した研修内容とした。

※ コロナ禍による影響を受け、地区館・主事間の連携の希薄が目立ったため、つながり作りを強化する目的で、昨年度に続き、屋外研修やレクリエーションの要素を取り入れた研修を実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

【毎月第1火曜日15時～ 対面実施】

<主な協議事項>

4/6	令和5年度の主事会・幹事会の運営等	10/3	主事研修会企画
5/9	主事研修会(前期)企画	11/7	主事研修会企画
6/6	主事研修会企画	12/5	主事研修会企画
7/11	主事研修会企画	1/9	主事研修会企画
8/1	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/6	主事研修会企画(大雪のため書面開催)
9/5	主事研修会企画	3/5	主事研修会企画、令和6年度の主事会計画案

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/上旬 令和5年度長野県公民館主事総会 書面開催。令和4年度から総会と主事会を別開催
- (2) 9/28・29 第71回長野県公民館大会・第63回関東甲信越静岡ブロック公民館研究大会
(長野市芸術館・長野市生涯学習センター／兼第12回主事研修会)
- (3) 11/30、12/1 長野県公民館主事研修会(12/1 中信地区分科会担当)
(下諏訪総合文化センター／兼第15、第16回主事研修会)
- (4) 12/15 令和5年度中信地区公民館運営協議会館長・主事等視察研修会
「地域の特色を活かした学びの施設の視察」(木曽おもちゃ美術館・御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳)
- (5) 2/18 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第39回公民館研究集会 令和5年度地域づくり市民活動研究集会～
中央公民館(全体会及び分科会)及び芳川会場・四賀会場(分科会)で実施。

4 その他(親睦事業など)

歓送迎会・暑気払い・忘年会を3年ぶりに企画し、適宜開催